

古代から続く祈りの道 - 大和の石仏巡行 -

第8回 桜井市・東部山間部の石仏



元 久留米工業高等専門学校教授
伊藤 義文

1. 地理

桜井市は奈良県中部にあり、市西部および北部は奈良盆地に位置し、ここは寺川や初瀬川（大和川）が流れ込む比較的平坦な田園地帯となっています。この地は古来ヤマト王権の中心的な地域であったと考えられています。



図1 笠山荒神社と火難除けお札



一方、市東部は大和台地に位置し山間部となっています。今回ご紹介するのは桜井市の山間部（笠地区、瀧倉地区、三谷地区）に点在する特徴ある石仏です。

2. 笠山荒神社：あかい 関伽井不動明王

笠山荒神（図1）は日本三大荒神の1つで、三輪山の北東、笠七峰七谷の最高峰、じゅうぶさん 鷲峯山の頂ににあります。笠山荒神には、初めて火を起し物を煮て食べることを教えた、おきつひこのかみ 興津彦神、おきつひめのかみ 興津姫神、はにおやのかみ 土祖神を祀り、かまどの神様として庶民の厚い信仰を集めています。現在でも台所に笠山荒神さんのお札を火難除けとして貼られているのを見かけます。

笠山荒神社には、あかい 関伽井の不動明王（図2）が祀られています。弘仁10年（819年）に空海が金剛峯寺の建立を志し、笠山荒神の関伽井で水行を行ったと言われており、その際に不動明王を祀ったと言われていました。以来、関伽井不動明王と名付けられ、笠山荒神社参拝の前には関伽井の水で身を清める浄水として用いられています。

3. 瀧蔵神社：ほうきょういんとう 宝篋印塔跡地、弥勒菩薩石仏

長谷寺の北約3km、標高430mに鎮座する瀧蔵神社は、長谷寺の奥の院として知られ、長谷寺へお参りしても瀧蔵神社へもお参りしないと、ご利益は半減すると言い伝えられる古社です。瀧蔵神社のもう1つの顔は参道入口の石垣の上にある、奈良県指定天然記念物の枝垂れ桜「瀧蔵権現桜」です（図3）。

著者略歴



1947年生まれ。72年、京都大学大学院卒業。以降、民間企業にて真空蒸着技術のフィルム応用や各種包装材料の開発に携わる。2004年、久留米工業高等専門学校教授。15年、退職。ライフワークとして石仏調査を行い、その成果をYouTube (<https://www.youtube.com/channel/UCvJiTXXSHW2MoqwdpszXcOQ>) に公表している。
✉ itou910@zeus.eonet.ne.jp



図2 笠山荒神の閻伽井不動と不動明王



図3 瀧蔵神社と瀧蔵権現桜

瀧蔵神社の鳥居前を降りていくと宝篋印塔跡地、弥勒菩薩石仏、観音屋敷跡、黄金塚などがあります。弥勒菩薩石仏は像高 89.4cm で胸の辺りで割れていますが、南北朝時代の作と推定されています(図4左)。宝篋印塔^{ほうきょういんとう}跡地には、鎌倉時代後期の金剛界四仏の梵字を彫った小型の十三重石塔残欠(二重のみ現存)が置かれています(図4右)。

※宝篋印塔:墓塔・供養塔などに使われる仏塔の一種。最上部の棒状の部分は相輪と呼ばれる。相輪は、頂上に宝珠を載せ、その下に請花、九輪(宝輪)、伏鉢などと呼ばれる部分がある。相輪の下には笠があり、笠の下の四角柱の部分は塔身^{とうしん}という。塔身にはしばしば仏坐像や月輪に囲われた種子(梵字)を刻む



図4 瀧蔵神社の弥勒菩薩石仏と宝篋印塔跡地

4. 西方寺：地藏菩薩石仏、六地藏菩薩石仏

瀧蔵神社から東に2kmほど行くと、西方寺への坂道があり左側に地藏菩薩石仏、右側に六地藏菩薩石仏があります(図5)。由来などは不明です。

5. 三谷村：地藏磨崖仏(寝地藏)と地藏石仏

三谷の寝地藏は、地元では「三谷のネンド(寝地藏)さん」と呼ばれ親しまれ、特に腰痛に霊験あらたかであったため、厚く信仰されてきました。三谷地藏磨崖仏[鎌倉時代後期延慶二年(1309)年、花崗岩、高さ133cm]は、阿弥陀と地藏の磨崖仏であったのが、石が割れ、地藏の方が転落し



図5 西方寺の地藏菩薩石仏と六地藏菩薩石仏

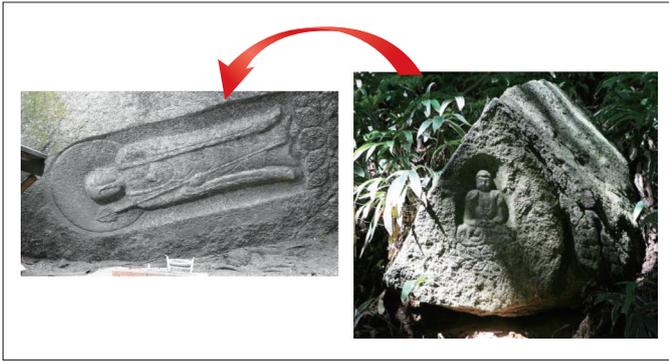


図6 三谷村の寝地藏と阿弥陀如来

てできたとのことです（図6）。地藏菩薩立像は、舟形を彫りくぼめ、蓮華座上に立つ地藏菩薩を厚肉彫りしています。像の左右に「願主いろう蘭生庄住人祐禪淨覚房」「延慶二年己酉六月廿四日造之」の刻銘があります。右手に錫杖、左手に宝珠を持ち、しっかりとした彫刻です。阿弥陀磨崖仏（鎌倉時代後期、花崗岩、座高39cm）は、二重円光背を彫りくぼめ、蓮華座に坐す阿弥陀如来を厚肉彫りしています。連弁の形や像容が優れ、整った美しさを見せています。

図7に示すように、寝地藏の横に立っているお地藏さんは、南北朝時代初期 建武二年（1335年）の造立で、花崗岩製、高さ138cmです。舟形光背を作り、蓮華座上に立ち、右手錫杖、左手宝珠の地藏を厚肉彫りしています。光背面に10個の小月輪を陽刻し、中に地藏の種子「カ」を刻んでいます。伝説によれば、「昔大男有り、寝地藏を起こそうとしたが駄目だった。最近までその力男の足跡が右手の田一枚に大き



図7 三谷の地藏磨崖仏

なわらじの形として残っていたが、今は杉が植林されている」と言われています。

6. まとめ

桜井市・東部山間地には、火難除けのお札で有名な笠山荒神さんの不動明王、長谷寺の奥の院である瀧蔵神社の弥勒菩薩石仏、三谷村のネンドさんの愛称で知られる三谷地藏磨崖仏など、現在でも深い信仰を集めている特徴ある石仏が多くあります。

今回の石仏の動画はYouTubeにアップロードしていますので、ぜひ次のキーワード検索で美しい動画をご覧ください。ありがとうございます。

・検索：桜井市東部山間地の石仏－YouTube

URL：https://studio.youtube.com/video/P5539HhSKio/edit